

平成 30 年度 諏訪二葉高校同窓会 下諏訪支部総会参加報告

平成 30 年 7 月 21 日 (土) 下諏訪総合文化センター 軽体育室

7 月 21 日に下諏訪支部総会が行われ、会長の岸が出席いたしました。

最初に支部長の宮坂みどりさんより、今年は「きれいに、元気に、体をほぐしてリラックス」しながら旧交を温めたいとお話がありました。

約 20 名が参加し、インストラクターの長矢良子さんのご指導のもと、大人楽しいゲームでいっきに盛り上がり、その後ピラティスで爽やかな汗を流し、文字通りリラックス。

その後懇親会が始まり、一人一人自己紹介をし、近況などを述べ合いました。

世代間で異なる同窓会への意識の差、また個人情報保護の壁から中々会員の消息がつかめない中、支部の灯を灯し続けていこうという、皆様の母校を大切に思う気持ちが強く伝わってきました。

また役員の方々に対してとても協力的であることが印象に残りました。

私の方からは最近の学校の様子、そして学校再編成のお話をさせていただきました。

「我が諏訪二葉高校は永遠に不滅」ではない現実を皆様に受け止めていただくと共に、良い知恵を出し合い、二葉の発展的方向を模索していく上での協力をお願いいたしました。

来年は今日ご参加の方々がそれぞれ同窓生を誘って、賑やかな会にしていくことを約束して閉会となりました。

(岸 記)

長野日報 7 月 24 日

全員が輪になってゲームを進める参加者たち



体を動かしリフレッシュ

諏訪二葉高校同窓会下諏訪支部(宮坂みどり支部長)は21日、同窓生や家族、知人らを対象とした「ピラティス体験講座」を、下諏訪総合文化センターで開いた。下諏訪町内からを中心に約20人が参加。楽しみながら体を動かした。「同窓生同士で緩やかにつながっていよう」と、昨年から始めた交流講座の一年から始めた交流講座の一環。星が丘在住のインストラクター長矢良子さんの指導で、ピラティスを中心に、体を動かしながらコミュニケーションを取ったり、リフレッシュできるゲームを楽しんだ。最初に挑戦したのは、全員が輪になり、手をたたくリズムを取りつつ、参加者の名前を言うゲーム。進めるうちに自然と笑いも起き、和やかに楽しんだ。同支部は「普段は顔を合わせる機会が少ない同窓生もいて、有意義だった」として